基本方針	地域の高齢者が「いつまでも住み慣れた地域で安心して健やかな生活が送れる」ように、介護・福祉・保健・医療などさまざまな面から支援する。
今年度の目標	高齢者がいつまでも住み慣れたこの老上、老上西学区で安心して生活ができる仕組み作りを推進する。
行動の指針	①私達は地域のサインを見逃さずに、積極的に出向いて高齢者を見守り、地域の和を構築します。 ②私達は高齢者がしあわせに老上学区・老上西学区で暮らせるよう、生命、権利、財産を守ります。 ③私達は利用者がより自分らしく自立した生活が送れるよう介護支援専門員との連携・協働を図ります。 ④私達は地域団体や介護保険事業所、医療機関等を結び、網目のような見守りネットワーク構築します。 ⑤私達は介護予防活動を展開し、健康寿命を延ばしていきがいを持って生活できるように地域に発信します。 ⑥私達は認知症の啓発、周知活動を展開し、認知症高齢者の孤立を防ぎます。

具体的な事業目的	事業内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1)総合相談支援事業																	
	個別相談対応(新規・継続)による実態把握、課題分析、緊急性の判断、継続的な見	計画												→			
a	守り、適切な支援へのつなぎ	実績															
		🛨	・今年度	L Eの相談・ B/# #60	件数は、	新規、組	上 迷続含め	「総合相	談」が実	上 件数289	 件、「包:	L 活的継続		マネジメ			
		たこ	めて対応	応を図っ	<i>t</i> =。			に関して									
		٤	・以前かい、支持					、相談を	侍つのみ	・でなく、	自ら連絡	をとり、	美態把 据	を行			
			今後も	引き続き	・、「切れ	目ない	実態把握	」を継続 期解決で		に支援を	を行う						
		課題		_196 V X			T	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\									
	以 加加	計画	未定														
		実績出来	•老上:	 10月と12	月に全代	 体交流会	を開催し) こた。	0		0		0				
								12月に	グループ	面談を到	実施した。						
		今後の	・今後も	、地域誤	題を共	有しなが	ら、民生	委員との	関係性	を密にし	ていく。						
	人类//	課題		ı			1	1		ı	1	Γ					
	介護保険事業所、地域団体等への訪問・ 周知・広報活動	計画												<u> </u>			
		実績												<u> </u>			
		ごス付き	高齢者向]け住宅、	.活動型-	デイ											
		たこと	サービスの実態把握を行った。 ・地域団体に関しては、出前講座を通じた周知活動(いきいき100歳体操、町内会、老人クラブ、ボランティア連合を、か、「こども食堂」「スポーツクラブ」といったこれまで把握できていなかった団体の内部が開発され、														
			の実態	把握を行	った。			なかった									
		の	****	とは、フェ	F及天心	付いたり	0200	ながって	四本之日	ETEC C.	, , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	• 0				
	地域の高齢者に関する、介護保険事業所、	課題計画															
	地域団体からの情報収集	実績															
		出来	·介護(所、地域	 団体、個	 別ケー	 スから高	齢者の乳	 実態を情	┃ 報収集し	 _、ネット'	フーク作	りを			
		たしょ	行った。														
		今後の	・今後も	、情報以	【集を元	に、美態	把握を作	い、関係	徐機関と	の連携を	2行つ。						
	医療関係者への周知活動	課題計画	随時														
	(未周知の医療機関·新規医療機関への挨拶)	実績	1227					0	0		0		0				
		出来						医療機関	に対して		座を開催						
		たこと						通じて、医					S •				
		今後の	▼新規の)	、耳鼻科	707子往往	と唯認し	ているが	、よた危	知沽勤)	かけえく	いない。					
	相談員会議に出席し、圏域間で相談業務	課題 計画															
	における情報共有や課題解決を図る。	実績・															
		大限		 間で情:	报共有、	 意見交持	 奥を行い	 課題解決	そを図った	 と。(権系	 擁護ケ	 -ス会議	、民児協				
			会、地域	域への出	前講座、	朝ミーラ	- ィング、	虐待対応 修を6圏 ^は	とについ	て)							
		کے	高齢者	部会との	交流会	に出席し	た。	を行った。		<u> </u>	加握 のた	0 047212	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2476 1333			
			今後も	、相談業				点に関し		負会議	の場で情	報共有	- 課題解	決を			
		の 課題	図ってし	۱۲۰				_		_							
	ホームページ活用により、活動内容の掲載、周知を図る。	計画	随時														
		実績	0	110'-	L 1 .0	>>+=	5 DC 1 7 T =	1. E. E. E.		0							
		出来たこ	•4月と	17月に7	_下 ームペ	一ンを貝	制し沽	動を周知	し <i>T</i> こ。								
		<u>と</u> 今後	・来年度	ほは更新	回数を増	曾やし周知	印を行っ	ていく。	.0								
		の 課題															
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-			•				•	•				•			

②3職種が情報を共有・必要	3職種でのミーティングを行い、ケース検討・	-1.44											[
性の判断をし継続的な支援を	担当者決定・役割分担を行う。	計画												-		
行う	(朝ミーティング:毎朝。週間ミーティング:月曜日。月間ミーティング:原則第2水曜日)	実績												-		
		出来			ング、週 図っている		ィング、	月間ミー	ティング	にて新規	見・継続ケ	ースの	劦議や担	当者決		
		たこと	たをし、	対心で	凶つている	o .										
		今後	•来年月	きもミーラ	ティングの	場を持ち	ち、ケース	ス検討・	青報共有	·役割分	'担を行う	0				
		の 課題														
2) 権利擁護事業																
	成年後見・権利擁護・支援困難ケースへの	計画	随時						l							
事業などを積極的に活用でき	個別相談対応		加可													
るよう支援する	(地域福祉権利擁護事業、後見制度利用 必要性の検討、申立て支援)	実績出来		日談の由	で権利挧	種の必	亜州太平	11度に ナーノ	ト ーフ け	粉件なっ	t-±.Φ.0) 制度	制田まで	にけ至		
		たこ	らなかっ		て作用でリカ	主ロラマンとい	女 II ୯ T	リ的(し/こ)	/ //۱۵		772-0070.	7、叩()交/	שאחהכ	には土		
		<u>と</u> 今後	•個別な	rースをi	通じ、高歯	令者の権	利を守る	らために	、今後も	必要に応	じで制度	を利用の	検討を行	うってい		
		の課			\ \ \ - \ - \ -											
	ケース会議実施	題	随時													
	(成年後見制度・権利擁護・支援困難ケー	計画	加山											A 44-7/7F O		
	スについて)	実績	• 『宿 	ケース会	 ≧議が必	要か高齢	 - 	関催には	 けてね:	O 対を行っ	ている。	ケース全	議盟催!	全体評価〇		
		,	なってし		X 04% / 7	첫,오니미점) T 1 C 1 S	が底で	יארי ליוני	כ נו שנם	Comp.	, ,,	. 时以 [九] [庄 [8 111 0		
		ک	A 44 1	今後も、高齢者の権利を守るために、ケース会議を開催し、関係機関と連携しながら												
		今後 の	ていく。	い、同断で	ヨ ひが住 不り	ट चकाः	(め)に、ク	一人云	兼と用作	し、ぼか	(成)男と理	は傍しなん	いり又抜き	Z170		
	ケアマネジャー、介護保険事業所対象に、	課題														
	権利擁護研修開催	計画							0			0				
		実績			M		L		0	L						
		出来たこ	•6圏域	6圏域相談員主催にて、10月にケアマネジャー向け権利擁護研修を開催した。												
		٢	+ -	-	1 公司, 由山 7 1	101	T 142 + 111									
		今後 の	*米年月催する。		多のアンク	アート結:	米寺を変	ま考にしながら、6圏域間で相談員と役割分担して研修を								
		課題					T	T	1	T	T		т——			
	地域住民に対して、権利擁護の啓発活動を 行う	計画	随時													
		実績	tot tob t	0	0		0		0	-15-	0. —.		- 14	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		出来	・地域サ	ナロン、B を織り交	₹児協、し ぜながら	^きいき 1 話をし、	00歳体: 老上包:	樂へ訪問 舌が権利	引した際、 リ擁護の ^対	包括のA 相談窓口	パンフレ! 1であるこ	ットを配す ことを伝え	テし、権ネ ミた。昨タ	∜擁護 ∓度より		
		کے	の啓発を織り交ぜながら話をし、老上包括が権利擁護の相談窓口であることを伝えた。昨年度よりも啓発回数を増やせた。 ・他圏域に比べ、権利擁護対応が少ない傾向にある為、権利擁護の相談窓口であることを周知す													
		今後 の		はに比べ 力を入れ		護対応が	が少ない	傾向にな	ある為、村	を利擁護	の相談系	窓口であ	ることを	周知す		
		課題	00710	73 6 7 7 7 6	, o											
②地域の関係者などからの 通報、相談の中から高齢者の	高齢者処遇検討会議への出席	計画		0		0		0		0		0		0		
権利侵害に対する早期発見		実績		0	0	0		0								
に努める		出来	・6月は	、担当ケ	一スの支	援ネット	· . 5 . 7 .	9月は他	圏域の調	事例につ	いて理解	を深める	るため、作	旁聴と		
		たこと	いつか	どの山吊	であった	。谷钒的	が保忌	で、同断	有 虐 付い	-	心場の夫	:1月で101	座でさた。	0		
		今後			に出席し	、担当ケ	ースのる	みでなく、	他圏域	ケースの	虐待の乳	[情につ	いても知	識を深		
		の 課題	めてい	〈 。												
		計画														
		実績				0				0				0		
		出来	·7月は	<u> </u> 担当ケー	」 −ス、11月	と3月は	 t、他圏 ^均	L 或の事例	 について	で理解を	<u> </u> 深めるた	 め 、 傍聴	という形	での出		
		たこ	席であ	った。担	当ケース	において	は、進	歩状況を	伝え、今	後の方向	句性につ	いて共有	すを行った	30		
		と 今後	·今後も	、全体記	平価会議	に出席す	トることで	5、担当4	ケースの	みでなく	、他圏域	ケースに	ついても	実態を		
		の 課題	把握し、	高齢者	虐待対応	への知	識を深々)、虐待(の早期発	見に努る	めていく。					
	マニュアルを活用しながら、虐待ケースに	計画	随時													
	対応する。(各種会議出席、事実確認、ケース会議開催)	実績	1,72.													
	, valuation in the same of the	出来	•各種会	 ≹議、事§	│ 実確認、Ĵ	<u> </u> 虐待ケー	 -ス会議 ⁷	」 など、フロ	<u> </u> 一図に	L したがっ	」 てケース	 対応を行	<u></u> うった。			
		たこと														
		今後	· 今後も	, フロー	·図やマニ	ニュアルる	を活用し	、適切に	支援を行	うっていく	,					
		の 課題														
	学区内のケアマネジャーに対して、「虐待防		随時													
	止」の研修開催に関する情報提供を行う。	実績												0		
		出来	•学区0		ー ネジャーI	こ対して	、草津市	主任介	_ 護支援専	門員連	_ 絡会を通	して、虐	待研修₺	会の案		
		たこと	内を行	った。												
		今後	·今後も	、高齢都	皆虐待に	関する研	F修開催	があれば	ば、ケアマ	マネジャ-	-に情報	提供を行	う。			
		の 課題														
③消費者被害に関する相談 支援、被害を防止する	消費者被害への個別相談対応 (市へ通報し、市と消費生活センターと役割	計画	随時													
文1版、1以古で1911年9日	(市へ通報し、市と消費生活センターと役割 分担の上、対応する)	実績				0										
		出来			する相談	があり、	類似の	相談がな	いか消	費生活セ	ンターと	連携し、	被害防⊥	Lに繋		
		たこと	がった。	•												
		今後	·今後も	、相談な	があれば.	、消費生	活センタ	ーと連打	携して対!	心にあた	:る。					
		の 課題														

	相談員会議にて、消費生活センターとの連 携・情報共有	計画							0							
	IN TRACE	実績								0						
									共有の場	を持ち、	. センター	-が受け	ている相	談内容		
		ادر ح		に関する												
		今後	・来年度	の相談	員業務会	≩議でも終	継続して	、消費生	活センタ	一との情	青報共有	「の場を持	寺つ。			
		の 課題														
	消費者被害についての意見交換会等を行		開催時													
	い、実態を把握する。	実績								0						
		出来						ら、センタ	ーが受り	ナている	相談内容	<u> </u> 容と、それ	れに関す	る実情		
		たこと		て教えてし 、ページな				ハての宝	能押据(- 怒めた						
		今後		活センタ								売する。				
		の 課題														
	消費者被害に関する啓発・情報提供	計画	随時													
	(民生委員、ケアマネジャーに対して) 	実績		0	0		0		0							
		出来								ペンフレッ	トを配布	」 ī。その際	景に、老上	:包括		
		たこと	が消費	者被害の)相談窓	ロである	ことを伝	えている	0 0							
			•来年度	も継続し	て、消費	貴者被害	に関する	啓発活	動を行っ	ていく。						
		の 課題														
の気がい。継续的をマランジ		休迟														
3)包括的・継続的ケアマネジ		ı				I	I									
	ケアマネジャー交流会を通じ、介護支援専門員同士のネットワークを構築する。	計画				0						<u> </u>				
a		実績				0				0		0		0		
		出来		域のケブ -同士の						、事例格	(対会、で	研修会を	開催し、	ケアマ		
		たこと	インヤ	IH] <u> </u>	スルでと	りいいり	1 /	11-2511	J1_0							
		今後	・今後も	交流でき	る場を	作り、老-	上圏域の	ケアマネ	ヾジャー≦	全員が参	加できる	るように便	動きかけて	ていく。		
		の 課題														
	・主任介護支援専門員業務会議に参加	計画												\rightarrow		
	介護支援専門員のネットワーク、顔の見える関係を構築をする。	実績	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0		
		出来	・主任介	`護支援	専門員業	と と と 務会議	に参加す	ることで	、顔の見	える関 [・]	係、ネッ	トワークイ	作りができ	きた。		
		たこと														
		今後	後・他圏域と連携し、研修会等に参加ができていない事業所に対しても、積極的にアプローチをかけ													
		の														
	 ケアマネジャー研修を企画・運営し、ケアマ	計画										0				
	ネジャーが問題解決を図れるようにスキル アップを目指す。	実績										0		0		
) / / Z C I II 9 .		•老上圏	関域の主任	チケアマ	 'ネジャー	 -と連携し	認知症	fケアマ:	ネジメン	<u> </u> - いいしょう	 ・実施した		$\overline{}$		
		たこ	•老上圏	域のケス	アマネジ	ヤーを対							て研修を!	実施し		
				アップを目 関域の主作			-と連携し	、主任な	アマネ	ジャーが	主体的	こ取り組み	めるようは	开修等		
		の		運営を実						•	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
②ケアマネジャーに対する	 個別ケース相談を通じて、指導・助言・スー	課題計画														
日常的個別指導•相談	パーバイズを行っていく。															
		実績出来	•個別力	ースのホ	日談を通	ド <i>ケ</i> ア	マネジャ	一白身か	(問題解	決できる	組占が:	持てるよ	うにスー	パーバ		
		たこ	イズを行		1100 6 700		(1)2 (דנו בבאנייו	<i>></i>	, 176 /16 /3	14 6 90	<i>)</i> -/-			
		<u>と</u> 今後	•今後#	、ケアマ	ネジャー	-自身が:	主体的に	取り組み	ょ、よりス	キルア・	ップが図	れるよう	スーパー	·バイズ		
		の	を行って		,			> q <u>a</u>			= 1		• •	,,,		
	 ケアマネジャー事例検討会を企画・運営し	課題計画						0		0						
	ケアマネジャーが問題解決を図れるように スキルアップを目指す。	実績								0	 	0				
10のの1返川又版でする	/ハコ /レ/ ノノ C 口 f目 y 。 	美 額 出来	•年2回	事例焓討	会を宝	 施L 事	 例を诵	ケアマネ	 ・ジャー+	_	<u> </u> いる問題	_	 し、問題角	産決!こ		
		たこ		食討する					• > \	A JEST C	00111165	3676H	>、 □ κ <u>∞</u> π	+//(10		
		ک	A L-		1821	14451-±	- /=:I+A=+	<u> </u>	4日は フェ	- - 1 - 4 =		-111				
		今後 の	・谷ケア	マネジャ	一が王位	本的に事	例検討:	会に取り	組めるよ	つに企画	₫•連宮し	ノていく。				
		課題				I	I			認知症						
	·草津市主任介護支援専門員連絡会議に 参加	計画	開催時							かアマ						
	・老上圏域主任介護支援専門員と連携し、「認知症ケアマネジメント研修」を企画運営	実績	0							0						
	する。		・草津市	主任介記	護支援専	門員連	絡会議に	-参加し、 - *-	老上圈	域主任な	ァアマネ・	ジャーと	連携し「認	2知症		
		たこと	ググマイ	トジメント	町1多」の)正凹"進	望呂を1丁7	0/ : 。								
		今後	・老上圏	域の主	壬ケアマ	゚ネジャー	が主体	的に取り	組めるよ	うに企画	画•運営し	<u>していく。</u>				
		の 課題														
④包括的・継続的なケア体 制を構築する	老上・老上西学区の医療福祉を考える会議				老西〇	老上〇			合同〇				老西〇	老上〇		
制を構築する	を開催し、地域のネットワーク作り、地域課 題の解決に向けての活動を見出す。	実績				老上〇			合同〇				老西〇			
		出来			业協議会	」 ≩と連携し			アプロー			<u> </u> を見出し	た。			
		たこ	・課題が	いら地域に	舌動へ展	開できる	るように、	役員会を	を通じてき	共有し、!	取り組ん		結果とし	て老上		
		と												トナハ		
		今後 の	・ 今 俊 も く。	からでは、	- 林超を	六行し、	心以活曳	が推進	、叮吹へ	₩ (元)	ょこで訂	画はを持	持って進め) CU1		
		課題														

	・ケアマネジャー連絡会議への参加 ・ケアマネジャー所長会議への参加	計画	0	0		0		00		0	0	0		0	
	アクスログ	実績	0	0		0		0		0	0	0			
		出来 たこ と	・ケアマ	ネジャー	連絡会記	義、所長	会議へ参	∲加しネ′	ットワーク	7作りを行	すった。				
		今後の課題			「長会議。 トットワー				議が統分	合となる	。引き続き	きケアマ	ネジャー	-が活動	
	・在宅チーム医療推進地域リーダー会議へ	計画	開催時										,		
	の参加、協力 ・在宅医療推進検討員会への参加	実績			0		0			0				0	
		出来たこと	・在宅チ 行った。			!域リータ	_	に参加し	、多職種		討会、市	民講座	への協力	•	
		今後 の 課題	•来年度	も多職和	重連携に	向けた会	会議∙研値	多に参加	しネット「	フーク構	築に向け	rて発信 [:]	をしてい	ζ.	
	・在宅歯科診療に関する協議会等への参	計画	開催時												
	加 ・湖南圏域病院・在宅連携検討会議への参	実績					0						0		
	加、協力	出来 <i>t-こ</i>	▪湖南圏	國域病院	に関する ・在宅連 改、多事	携検討会	₹議へ参	画し、H3	30.2.15(こ	は有志	ていないメンバーと	。 として、 臣	≦師、歯ᅒ	科医	
		今後			会の企	企画運営などに携わって									
5)認知症に対する取り組み		IIA KZ													
①認知症に関する正しい知	認知症サポーター養成講座や出前講座の	計画	依頼時												
識を普及する	開催等、認知症に関する啓発の実施・協力 (年4回以上)そのための周知(サロン、老	実績	ID(1)RF1					2	2	2	1	4	1		
	人会、地域団体等)		・認知症 行った。		 ター養成	講座を年	 F6回、出	_			増加	-	<u>'</u> 啓発、周	知を	
		٢	・老上・			域団体に	に向けて	、認知症	•介護予	防啓発Ⅰ	こ向けて	アプロー	·チを行し	い、出前	
		課題	四十八五.0.0				T								
	上記の効果的な実施を目的とした認知症 キャラバン・メイトとの連携	計画												\longrightarrow	
	THE STATE OF THE S	実績												\longrightarrow	
		出来 たこ と	·毎月 <i>の</i>	認知症	キャラバ	ンメイトジ	連絡会に	参加し、	情報を共	も有し地は	域でのメー	イト活動	を行った	. 0	
		今後の課題	・認知症 く。	キャラノ	ベンメイト	として連	絡会に参	参加し、行	 页、市县	民メイトと	ともに連	携し、啓	発を行っ	ってい	
	市が実施する認知症市民講座の企画協力	計画	開催時												
		実績	17.312						0					0	
		出来たこ	・草津市	l īが主催 [·]	L する認知	症市民	l 講座に参	∜加し、実		こ努めた	-0				
		<u>と</u> 今後 の	と 後 ・草津市より依頼あれば、企画協力を行っていく。												
②介護サービス・認知症ケ	 介護保険サービス未利用者の適切なサー	課題計画													
アの充実	ビス利用のための支援{年間80件}														
		実績出来たこ			用者の実 し、利用				₹81件対	応を図っ	た。サー	-ビス利原	目が必要	きな高齢	
		き 今後 の 課題	・適切に	介護サー	ービスを	受けてい	<i>いただ</i> くよ	うに、今	後も実態	《把握訪	問を行っ	ていく。			
	草津栗東認知症ケアネットワークを考える	計画	開催時												
	会への参加	実績								0					
		出来	·草津栗 いる。	東認知	L 症ケアネ	ットワー	 クを考え	る会へ参	参加し、専	厚門知識	 を深め、	日々の対	対応に活	かして	
		ラ後 の 課題	・引き続	き参加を	を行ってい	\ _{\o}									
③早期発見・早期対応の推 進	・認知症ケアパスの活用 学区の医療福祉を考える会議を通じて、	計画			老西〇	老上〇			合同〇				老西〇	老上〇	
· -	「早期の繋がる仕組み」について検討を行う。	実績			老西〇	老上〇			合同〇				老西〇	老上〇	
	・認知症初期集中支援チームとの連携 相談があった際には、速やかに検討し、認	出来						を通じて			り、相談に	繋がる(
	知症初期集中支援チームと連携し支援を / /	たこ と 今後	▪認知症	初期集							ま1件対応 に対応か			援を行	
		ア版の課題	う。	, U-U-3()	— I'T' \~ D\Û	- VH VE (N)	ベナネ	-1/2/	〜 (土) 方	ン、干別	, — A 3 M W M	11/0	<u></u>	ישכון	

④地域見守り体制の推進	地域安心声かけ訓練の協力 (地域団体に開催に向けて、打診する)	計画											0	
		出来たこ	•計12回						<u> </u> ⊠社会福 」を実施		 会主催で	 、新浜町	│	 Tなど老
		の	来年度かけてし		学区、老	上西学	区で1回	づつ開催	ができる	るように、	地域団体	本に対し	てアプロ	ーチを
	民生委員との研修交流会の実施(年1回以	課題計画												
	上)	実績	i				0		0		0		0	
		出来 たこ と					きを開催。 きを開催、		グループ	『面談を	実施。	!	-	
		今後の課題		地域課	題を共有	「しながら	。、民生委	き員との	関係性を	密にし、	見守り体	制を推	進してい	ζ.
	徘徊リスクのある高齢者の事前登録への 協力	計画												
	נית ותו	実績	i	1	2	1	1	1	1		1	1		1
		出来 たこ と		更新登録	禄含め、1	0ケース	の対応を	を行った。		•				
		今後 の 課題	るように				音には働	きかけ、	いざ事態 -	が起こ [、]	った場合	には早急	急に対応る	を図れ
	地域密着型運営推進会議で地域との交流 方法についての検討(地域密着型運営推	計画	i											
	進会議に参加し、介護施設と地域が繋がれ るように支援を行う)	実績												
		出来 たこ と			る地域密 援を行っ		業所運営	推進会	議に延ぐ	ヾ28回参	参加し、地	域団体	とのネッ	トワーク
		今後 の	・互助と	:共助との	り連携が	できるよ	うに働き	かけ、協	協働活動:	が行える	ように働	きかける	5.	
⑤介護者のケアの充実		課題			<u> </u>		Ī						T	
⑤ が 護有のグアの元美	握	計画					なごみ						なごみ	
	(なごみ会、認知症カフェ、地域カフェきらく 等への参加)	実績出来		のなごみ	 	<u> </u> 或カフェぇ	〇 きらくに参	 }	 知症高	 齢者をす	える家族	 	│ O い」などを	
		たと	し、日々	の業務	などに生	かした。							等を把握	
⑥推進体制ほか	・認知症地域支援推進員会議への出席	の 課題	の充実	を行って I) <u></u>	<u> </u>	一		T 101/E	T
	(草津市とともに認知症についての地域課	計画実績		0		0		0		0		0		0
		出来たこ	- 認知症	│ ○ Ē地域支	 援推進貞	O 会議に	_ ∴参加し、	O 行政と協	 協働し、 現	場での	 活動や現	□□○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	 況を報告	してい
				会議に	参加し、	認知症高	高齢者の	支援体制	川につい	て検討を	行ってい	١٧.		
	認知症に関する相談対応(年間60件)	計画												
		実績	[
		出来 たこ と		に対す	る対応を	延べ202	2件行った		•	•	•	•		
		今後 の 課題		き相談	を通じて	、対象者	に適切な	対応を	図ってい	< 。				
6)地域ケア会議推進事業	(地域資源マップ作成業務)													
自立に資するケアマネジメラ 支援と、個別支援の課題分	ける 地域ケア個別会議AB、圏域地域ケア個別 ント 会議を開催し、主任介護支援専門員会議を ↑析 通じて、地域課題の把握・分析を行う。	計画												
を行う。		出来	・圏域地 ターを行	うった。言	†8回参加	旧または		0		 ケア個別	 会議AB	 では司会	 会やファシ	 ンリテー
		今後の課題	・来年度整理や:	まも事例:	提供や言	会、ファ		ターを行		壬介護支	援専門員	員業務会	議にて、	課題の
	圏域地域ケア個別会議から老上・老上西学 区の課題として、地域での活動に繋がるよ				老西〇	老上〇			合同〇				老西〇	老上〇
	うに関係団体、市、社会福祉協議会と連携	実績				老上〇			合同〇					老上〇
	し活動を見出していく。	出来 たこ と											拠点」の: スタートl	
		今後の		可能なた	フェとし								も協力し語 活動が広	

7)介護予防支援業務・介護予	防ケアマネジメント業務													
	予防給付の対象高齢者が、自立支援に向	計画												$\overline{}$
により自立を促すプランを作 成する。	けた適切なサービス利用ができるように、 計画立案を行う。													
ix y る。		実績												<u> </u>
	(直営の場合、年420件以上)	計画												→
J	・直営ケースの自立を促すケアプランの作成し、モニタリング・評価を行いながら支援を行う。	実績 直 (予)	37	37	35	32	32	31	30	27	26	25	25	25
	(委託の場合) ・介護予防サービス計画原案の妥当性の確認、サービス担当者会議への参加	実績 直 (総)	2	3	4	6	9	10	12	14	18	16	15	12
	・介護予防サービス実施後の評価が適切に行われるように、指定居宅介護支援事業所へ助き、指導。	実績 委 (予)	36	33	28	29	32	32	31	33	32	33	31	31
業所・委請	・その他必要に応じ、指定居宅介護支援事業所に対し、助言・指導。 ・委託先に不適切その他重大な問題が認められる場合は、地域保健課に報告。	実績 委 (総)	2	4	7	10	8	10	10	10	10	10	11	12
		たこ	•直営•	委託ケー		自立支持	やケアマ 爰に資す						ニング・モ	ニタリ
							づき支援	を行う。						
	・介護予防マネジメント業務会議に出席 総合事業の対象高齢者が地域で介護予防 の取り組みが生活の中で行えるよう、(心身 機能・活動・参加の視点を踏まえ)他圏域と の共有を図り行う。地域ケア会議(C)の参 加し、地域課題の抽出を図る。	計画												
介護予防を取り入れ、自らが 評価、実施できるよう支援す る。		実績	0	0	0	0		0			0	0		0
		出来 たこ と					加を通じ マネジメン						を援を行 [.]	った。
		の	地域ケ	ア会議の	に関して	には、地域	極的にな 或課題の の活動を	抽出に	は至って	おらず、	活動やす		く。 じて検討	を行う
	介護予防マネジメントに対する見識を深め 出前講座や保健活動等を通じて介護予防	計画												
	の周知を図っていく。	実績	0	0	0	0	0	0			0		0	
		出来 たこ と		防マネシ	ジメントの	視点を	持って、均	也域団体	に対して	保健活	動等を通	じて啓え	・ 周知を	図っ
		今後			インフォー アプロー				サロンな	ど)に対	し、介護	予防のネ	見点を持	ってい